

第 3 部 2009 ICOM-ASPAC 日本会議概要

(第3部 中表紙裏 余白)

3.1. 「2009 ICOM-ASPAC 日本会議」の概要

3.1.1. 目的

博物館の基本的役割は、調査・研究、標本・資料収集と保存、展示、教育普及という様々な活動を発展させることである。先進的な博物館は科学的研究を推進するとともに研究データや博物館のコレクション情報の発信を通じて研究者コミュニティや社会に貢献している。また、ツーリストを惹きつけて、地域発展に貢献している博物館もある。アジア太平洋地域の博物館は西～東まで変化に富んでいる。我々は現在、博物館の管理・運営において様々な課題に直面しており、アジア太平洋地域の博物館として、地域博物館の定義、役割、未来について考える時に来ている。

ICOM 日本は 2009 年 12 月 7-9 日に ICOM-ASPAC 会議を主催する。この会議は、直面する課題にどのように取り組むかを検討し、これまで弱かったアジア太平洋地域の博物館同士の連携を深めるために開催される。

また、メインテーマである「アジア太平洋地域における博物館の中核的な価値の再考と地域遺産」というテーマのもと、この会議は、中国・寧波 (Ningbo) において開催された「国際博物館フォーラム」の宣言を継承し、2010 年の中国上海での ICOM 総会のテーマ「博物館と調和的社会」の検討につながるものと位置づけられる。

3.1.2. 日程・会場

日程・2009 年 12 月 7-9 日

会場 国立科学博物館

3.1.3. 組織

議長 ICOM 日本委員会 佐々木 正峰(国立科学博物館長)

竹内 誠(日本博物館協会会長)

チャン・インキュン(ICOM-ASPAC 委員長)

組織委員会

委員長 佐々木 正峰(ICOM 日本委員会委員長, 国立科学博物館長)

副委員長 五十嵐 耕一(ICOM 日本委員会副委員長, 元日本博物館協会専務理事)

中川 志郎(ICOM 日本委員会顧問, 茨城県自然博物館名誉館長)

原 俊夫(ICOM 日本委員会副委員長, 原美術館長)

大堀 哲 (ICOM 日本委員会個人会員 長崎歴史文化博物館館長)

水嶋 英治(ICOM 日本委員会監事 常磐大学大学院教授)

北見 耕一(ICOM 国際博物館の日実行委員長・国立科学博物館理事)

遠藤 啓(独立行政法人国立文化財機構理事, ICOM 日本団体会員館)

田村 誠(ICOM 日本事務局 日本博物館協会専務理事)

実行委員会

委員長 水嶋英治 (ICOM 日本委員会監事 常磐大学大学院教授)

副委員長 松浦啓一 (国立科学博物館標本資料センター コレクション・ディレクター ICOM 日本団体会員館)

上野 喜代人 (国立科学博物館広報・サービス部部長 ICOM 日本団体会員館)

亀井 修 (国立科学博物館展示・学習部学習課室長 ICOM 日本団体会員館)

河野 哲郎 (東京国立博物館国際交流室専門職員 ICOM 日本委員会委員)

新妻 洋子 ICOM 日本委員会事務局(財)日本博物館協会事務局長

高橋 信裕 文化環境研究所所長

組織委員会事務局 日本博物館協会 国立科学博物館

事務局長 北見 耕一 国立科学博物館理事

事務局次長 上野喜代人 国立科学博物館広報・サービス部長

3.1.4. テーマ

3.1.4.1. メインテーマ

アジア太平洋地域における博物館の中核的な価値の再考

Rethinking of Museums' Core Value and Regional Heritage in Asia-Pacific

昨年 2 月に日本で開催された日韓専門家会合の席上、インキュン・チャン ICOM-ASPAC 委員長は「ASPAC はアジア太平洋地域圏にとっての”博物館”とは何か、を考える場としたい」との意見表明を行った。

また、我が国の博物館にとっては、国内のみならず、近隣諸国を含めた博物館コレクション情報の相互発信による博物館関係者のコミュニティー構築とそれによる社会貢献が重要であり、このことは、中国が要望している ICOM 上海大会のテーマ「博物館と社会との調和」及び昨年(2008)12 月、中国の寧波で開催された「国際博物館フォーラム」のメインテーマ「21 世紀における博物館の新しい責務と中心的な価値」との連続性に合致している。

このような状況の下、ICOM 日本国内委員会の佐々木正峰委員長、ASPAC のインキュン・チャン委員長及び日本博物館協会が協議した結果、2009 年の ICOM-ASPAC 日本会議の中心テーマを「アジア太平洋地域における博物館の中核的な価値の再考と地域遺産」とすることとなった。

これは、博物館の「新しい責務」については各国の事情によって異なるであろうし、博物館機能(調査研究・収集・保存・展示・教育等)の重点の置き方によっても責務のとらえ方が異なるであろう。これに対し、「中心的な価値」は博物館界にとって普遍的な考え方であり共通認識が可能なキーワードである。メインテーマ及びセッションテーマはこのような事情も考慮して決定した。

3.1.4.2. セッションテーマ

(1) アジア太平洋地域の地域遺産 Regional Heritage in Asia-Pacific

アジア太平洋には、多くの地域遺産、すなわち、文化遺産や自然遺産が存在している。しかし、地域遺産の多くは、十分に保存されているとは言えず、またその活用も十分ではない。博物館にとって十分なインフラが整備さ

れていない段階で、それらが観光資源として博物館で公開されれば、地域遺産を失うばかりでなく、来館者を失望させ、次世代への継承が保障されない。そこで、このセッションでは、特に文化遺産に焦点をあて、アジア太平洋地域にとっての文化遺産の持つ役割は何か、それを保存活用する博物館の役割とは何かを検討する。

(2) アジア太平洋地域の博物館情報のためのネットワークの構築

Network Building for Museum Information in Asia-Pacific

急速なアジア太平洋諸国の経済発展に伴い、自然環境の悪化・生物多様性の損失など、多くの課題が生じている。そのため、博物館に集積された標本・資料や様々な情報を電子化して、研究者及び一般社会に公開することは極めて重要な社会的活動である。アジア太平洋地域を見ると、少数の国々の自然史系博物館が自国語及び英語で情報を発信しているが、多くの国々では博物館からの情報発信は遅れていると言わざるを得ない。このような現状は如何にすれば克服できるのか、そして、どのようにすれば博物館同士で情報を共有できるのかを検討する。また、個々の博物館が情報を発信するためにネットワークを構築するための方途についても検討する。

(3) アジア太平洋地域博物館における倫理規定のための人材開発

Human Resources Development for “Code of Ethics” in Asia-Pacific

博物館の専門職員・学芸員の養成は世界的な課題である。その場合は専門知識だけではなく、職業人としての行動規範も必要である。しかし、各国において十分な教育研修制度がない中で、人材養成や倫理規定を考えていくことは不可能である。このセッションでは、アジア太平洋地域でのこのような人材開発はどのようにすれば実現できるかを検討する。

特に、倫理規定や職業行動規範を策定していくためには何が必要で、どのように検討していけばよいか、また人材養成の各国の連携方策などについても検討したい。

3.1.5. 会議

■場 所： 国立科学博物館講堂

■公式言語： 英語(同時通訳:日英)

■登録費用： 8 月末まで ¥5,000 (US\$ 50 程度)
 10 月末まで ¥8,000 (US\$ 80 程度)
 当日まで ¥10,000 (US\$100 程度)

■プログラム： ASPAC 東京会議宣言は 3 日目午後に行う。(詳細は別紙1のとおり。)

■招待： 基調講演者・ICOM 関係者など数名を招待する。その他に各セッションでの発表を条件に若手専門家(40 歳以下)を 3 名公募によって招待する。コールペーパーの内容・審査委員会などについては、現在検討中。セッションテーマ発表者募集スケジュールについては別紙2のとおり。

(別紙1)

ICOM-ASPAC日本会議日程			
DATE	TIME	CONTENTS	REMARKS
Dec.7	9:30～11:00	受付	3日間常設
	11:00～12:00	開会セレモニー	講堂
	12:00～13:30	昼食	
	13:30～15:05	基調講演1 基調講演2	講堂 中5分入替用の時間
	15:05～15:35	休憩	
	15:35～16:20	基調講演3	講堂
	16:20～16:45	討議	講堂
	16:45～17:00	休憩・移動	
	17:00～19:00	ウェルカムパーティー	場所:地球館地下2階ホールorムーセイオンor中央ホール
Dec.8	9:00～9:30	受付	3日間常設
	9:30～10:30	セッションテーマ1(2人)	講堂
	10:30～11:00	休憩	
	11:00～12:00	セッションテーマ1(2人)	講堂
	12:00～13:30	昼食	
	13:30～14:30	セッションテーマ1(2人)	講堂
		セッションテーマ3(ワークショップ)	大会議室
	14:30～15:00	休憩	
	15:00～17:00	セッションテーマ2(3～4人)	講堂
セッションテーマ3(ワークショップ)		大会議室	
Dec.9	9:00～9:30	受付	3日間常設
	9:30～10:30	セッションテーマ2(2人)	講堂
		セッションテーマ3(ワークショップ)	大会議室
	10:30～11:00	休憩	
	11:00～11:30	東京宣言	講堂
	終了後	エクスカージョン	3コース程度(都内博物館・美術館)を設定。

※ メインテーマ:アジア太平洋地域における博物館の中核的な価値の再考と地域遺産

Rethinking of Museums' Core Value and Regional Heritage in Asia-Pacific

※セッションテーマ

1. アジア太平洋地域の地域遺産 Regional Heritage in Asia-Pacific コンビナー:河野・チャン

2. アジア太平洋地域の博物館情報のためのネットワークの構築

Network Building for Museum Information コンビナー:松浦・ゴモン

3. アジア太平洋地域博物館における倫理規定のための人材開発

Human Resources Development for “Code of Ethics” in Asia-Pacific コンビナー:水嶋・マーフィー

※ 基調講演者3名(日高氏,ゴモン氏,マーフィー氏) 講演時間45分/1人

※ 各セッションテーマの発表者 5～6人(うち1人はコールペーパーによって選考した若手研究者)

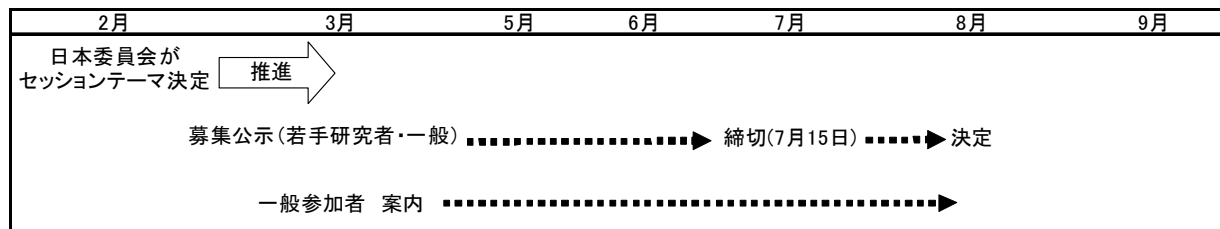
セッション1:コンビナー挨拶:5分,発表:20分×6人,コンビナーまとめ:5分)

セッション2:コンビナー挨拶:5分,発表:20分×5人,コンビナーまとめ:5分)

※ 会議開催期間中にポスターセッション(各国の博物館事情等):日本館中央ホール

(別紙 2)

セッションテーマ発表者募集スケジュール(案)



若手研究者の応募資格については、40歳以下、5年の博物館経験者とする(各セッション 1 名)。具体的な必要書類・応募資格などについては、以下のとおり。

- どのセッションに応募するかを明記
- 推薦状があるか、もしくは自己推薦の場合は身元保証人を連絡すること
- 300字～500単語程度の概要の提出
- Eメールでの応募(Fax での応募は受け付けない)←会議の結果はインターネットで公開を予定している
- 英語が話せること
- 履歴書・業績リスト

Plan of the ICOM-ASPAC Conference in Japan in December 2009

1. Purpose

The basic role of the museums is to promote various activities, including research, collection building and management of materials and specimens, exhibition and education. Many museums are contributing to the community with promotion of scientific studies and releasing scientific data and information of museum collection. Some museums also play a role in attracting tourists for regional developments. Museums in Asia-Pacific region are diversified in many aspects, such as locations from Far East to the West, capacities, and activities. We are now facing various problems about the management and operation of the museums, and we, as the museum professionals of Asia-Pacific region, should consider the definition, roles and the future of the regional museums. ICOM-Japan will host the ICOM-ASPAC Conference in Japan from 7th to 9th December 2009. The purpose of the conference is to discuss how we should address to the problems that we are facing now, and to strengthen cooperation between museums of Asia-Pacific region.

Under the main theme “Rethinking of Museums’ Core Value and Regional Heritage”, this conference follows the declaration of the Ningbo International Museum Forum, held in China in December 2008, and would make a contribution to the success of ICOM General Conference in Shanghai in 2010 under the theme of: “Museums and Harmonious Society”.

2. Dates and place of the Conference

Dec. 7th—9th, 2009, in National Museum of Nature and Science, Tokyo Japan

3. Organization

Chair: Mr.Masamine SASAKI, Chairperson of ICOM-JAPAN,

Director General of National Museum of Nature and Science, Tokyo, Japan

Mr.Makoto TAKEUCHI, President of Japanese Association of Museums, Tokyo

Ms.Inkyung Chang, Chairperson of ICOM-ASPAC

Organizing Committee:

Chairperson Mr.Masamine SASAKI, Chairperson of ICOM-JAPAN,

Director General of National Museum of Nature and Science

Vice-chair Mr.Koichi IGARASHI, Vice-chair of ICOM-JAPAN,

Former senior director of Japanese Association of Museums

Mr.Shiro NAKAGAWA, Adviser of ICOM-JAPAN, Honorary director of Ibaraki Nature Museum

Mr.Toshio HARA, Vice-chair of ICOM-JAPAN,

Director of Hara Museum

Mr.Satoshi OHORI, Individual Member of ICOM-JAPAN,
Director of Nagasaki Museum of History and Culture

Mr.Eiji MIZUSHIMA, Auditor of ICOM-JAPAN,
Professor of Graduate School of Tokiwa University

Mr.Koichi KITAMI, Chairperson of Steering committee of
ICOM International Museum Day,
Trustee of National Museum of Nature and Science

Mr.Hajime ENDO,
Trustee of National Institutes for Cultural Heritage,
Institutional Member of ICOM

Mr.Makoto TAMURA, ICOM-JAPAN Administrative Office,
Executive Director of Japanese Association of Museums

Steering Committee

Chairperson Mr.Eiji MIZUSHIMA, Auditor of ICOM-JAPAN,
Professor of Graduate School of Tokiwa University

Vice-Chair Mr. Keiichi MATSUURA,
Collection Director of the Collection Center, National Museum of
Nature and Science, Institutional Member of ICOM-Japan

Mr. Kiyoto UENO,
Director of Public Relations Department, National Museum of
Nature and Science, Institutional Member of ICOM-Japan

Mr. KAMEI Osamu,
Head of Human Resources Promotion Office, Exhibition & Education Department (In charge of ICOM-ASPAC),
National Museum of Nature and Science

Mr. Tetsuro KONO,
Specialist of the International Division of Tokyo National
Museum, Member of ICOM-Japan

Ms. Yoko NIIZUMA,
Secretary of ICOM-Japan, Senior Director of Japan Association of
Museums

Mr. Nobuhiro TAKAHASHI,
Director General of Institute of Cultural Environments

Secretariat of Organizing Committee:

Japanese Association of Museums, National Museum of Nature and Science

Secretary-General: Mr. Koichi KITAMI, Trustee of National Museum of Nature and Science

Deputy Secretary-General: Mr. Kiyoto UENO, Director of Public Relations Department, National Museum of Nature and Science

4. Themes

Main theme: Rethinking of Museums' Core Value and Regional Heritage

In the Japan-Korea meeting of Professionals, held in February 2008, Ms. In-kyung Chang, the Chairperson of ICOM-ASPAC, suggested that the meetings of ICOM-ASPAC should provide opportunities to discuss about the value of the museums for Asia-Pacific regions.

It is important to construct the museum community by mutual exchange of information not only within museums in Japan but also with other foreign museums and to contribute to the society by these activities. These requests meet with the theme of "Museum and Harmonious Society" of General Conference in Shanghai in 2010 and also with the theme: "Core Values and Social Responsibilities of Museums in the 21 century", presented in the Ningbo Forum.

Under such circumstances, discussions of Mr. Masamine Sasaki, Chairperson of ICOM-Japan, Ms. In-kyung Chang, the Chairperson of ICOM-ASPAC and Japanese Association of Museums, led us to the agreement that the main theme of the conference in Japan in 2009 will be "Rethinking of Museums' Core Value and Regional Heritage".

Session Themes

(1) Regional Heritage in Asia-Pacific

There are many regional heritages including cultural and natural heritages in Asia-Pacific. However, many of those regional heritages are not adequately conserved, nor appropriately utilized. Museums are expected to contribute to conservation of the regional heritages, but some of them would not be ready to be engaged in such activities because of their inadequate infrastructure or capacities. If the regional heritages would be opened as tourism resources to the general public in the museums, the visitors to the museums would be disappointed to see inadequate managements of the regional heritages and it would end up with failure of succession of the regional heritage to next generations. In this session, we would like to focus on cultural heritages and discuss the role of cultural heritages in Asia-Pacific region and the role of museums that conserve and utilize such heritages.

(2) Network Building for Museum Information

Due to the rapid economic growth of Asia-Pacific regions, many issues, such as deterioration of natural environment and the loss of biodiversity, are arising. Considering this situation, it is important for museums to disseminate information on collections through the internet. Although there are some natural history museums in Asia-Pacific region, making digitized records of collections available to the public in their local languages and

English. However, many museums in the region are still behind in terms of database and digitization of museum information. This session will provide the participants with chances to discuss how we can improve this situation and how we can share information between museums. Furthermore, this session is expected to stimulate discussions on networks for museums information terms of collection database and dissemination of digitized museum information.

(3) Human Resources Development for “Code of Ethics” in Asia-Pacific Museums.

Human resources development of museum experts and curators is a global issue. Museum experts are expected to understand and follow “Code of Ethics”. However, unless adequate training systems in countries, it is practically impossible to think about human resources development for code of ethics. In this session, we will discuss how we can implement such human resources development in Asia-Pacific region.

A focus will be put on the means and prerequisites for the implementation, as well as ways of multinational cooperation for human resources development in order to establish code of ethics.

5. Conference

Place: National Museum of Nature and Science, Lecture Hall

Language: English (simultaneous translation in English-Japanese)

Budget: Basic fund is arranged by Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology. Events that can not be covered by the ministry, such as Welcome Party, will be subsidized by ICOM-Japan, sponsors and registration fees.

Registration Fee:

Registered by the end of August 5,000 JPY (approx. US\$50.00)

October 8,000 JPY (approx. US\$80.00)

the day of the conference 10,000 JPY (approx. US\$100.00)

Program: ASPAC Tokyo Declaration will be announced in the afternoon of the third day as attached schedule.

Invitation (Air Ticket and Accommodation):

Keynote lecturers and several ICOM related personnel will be invited. In addition, three selected young professionals (under the age of 40 and with more than 5 years of working experience in museums in Asia-Pacific) will be invited to make his/her presentation in every session of the conference. Criteria and procedures of paper selections are now under consideration.

The application of papers for sessions is scheduled as shown in attached sheet 2.

Draft Time Table of the ICOM-ASPAC Conference in Japan

DATE	TIME	CONTENTS	REMARKS
Dec.7	9:30~11:00	Reception	
	11:00~12:00	Opening Ceremony	Lecture Hall
	12:00~13:30	Lunch	
	13:30~15:05	Keynote Session 1 Keynote Session 2	Lecture Hall
	15:05~15:35	Break	
	15:35~16:20	Keynote Session 3	Lecture Hall
	16:20~16:45	Discussion	Lecture Hall
	16:45~17:00	Break	
Dec.8	17:00~19:00	Welcome Party	Place: Hall at the B2 Floor or Restaurant or Main Hall
	9:00~9:30	Reception	
	9:30~10:30	Theme 1 (2 person)	Lecture Hall
	10:30~11:00	Break	
	11:00~12:00	Theme 1 (2 person)	Lecture Hall
	12:00~13:30	Lunch	
	13:30~14:30	Theme 1 (2 person) Theme 3 (workshop)	Lecture Hall Meeting room
	14:30~15:00	Break	
	15:00~17:00	Theme 2 (3 or 4 person) Theme 3 (workshop)	Lecture Hall Meeting room
Dec.9	9:00~9:30	Reception	
	9:30~10:30	Theme 2 (2 person) Theme 3 (workshop)	Lecture Hall Meeting room
	10:30~11:00	Break	
	11:00~11:30	Closing Declaration	Lecture Hall
	After closing	Excursion (3 public tour)	(3 public tour: museums in Tokyo)

※Main theme: Rethinking of Museums' Core Value and Regional Heritage in Asia-Pacific

※Session theme

1. Regional Heritage in Asia-Pacific Coordinator: Ms. Chang and Mr. KONO
2. Network Building for Museum Information Coordinator: Mr. Gomon and Mr. Matsuura
3. Human Resources Development for "Code of Ethics" in Asia-Pacific Coordinator: Ms. Murphy and Mr. Mizushima

※Keynote Speaker: 3person (Mr. Hidaka, Mr. Gomon, Ms. Murphy) 45 minutes/person

※5 or 6person will make the presentation at each session, including a young professional, selected by paper.

Session1:

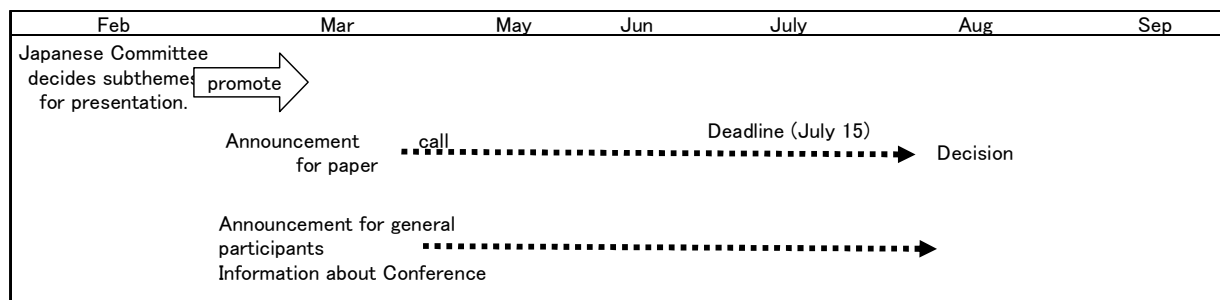
Opening address by coordinator: 5min, presentation: 20min×6person, Conclusion by coordinator: 5min)

Session2:

Opening address by coordinator: 5min, presentation: 20min×5 or 6person, Conclusion by coordinator: 5min)

※Poster Session about museum introduction by each country: Main Hall in Japan Gallery

Schedule



Young professionals, who will be selected by applied paper should be under the age of 40 and with more than 5 years of working experience (one person in each session). Documents and criteria for application are as follows:

- * Make clear, to what session the person is applying.
- * Recommendation letter, or if self-recommendation, inform the person(s) who can comment about the person
- * Abstract in 300—500 words.
- * Apply by E-mail (Application by fax will not be acceptable), as the results of the conference will be disseminated by electronic materials.
- * Having no problem in speaking English.
- * CV, list of publication

(ページ数調整用 余白)